

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/8)

認定番号:0231-2003, サービス名称: CELF, 事業者名称:SCSK株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須	2022/10/20
- 事業所・事業					
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須	SCSK株式会社
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須	1969年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)		52年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須	〒135-8110 東京都江東区豊洲3-2-20豊洲フロント
	事業所数(国内、国外)		国内:12拠点		
	主な事業所の所在地		東京:4拠点、大阪:4拠点、愛知:1拠点、広島:1拠点、福岡:1拠点、沖縄:1拠点		
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要 (ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須	・コンサルティング ・システム開発 ・ITインフラ構築 ・ITマネジメント ・BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング) ・ITハード・ソフト開発 ・検証サービス
- 人材					
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須	當麻 隆昭
			代表者写真	選択	
			代表者年齢		
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)		
7	役員	役員数	選択	12名	
		役員氏名及び役職名		役員一覧参照(https://www.scsk.jp/corp/outline.html)	
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択	8,357名(2021年3月31日時点)
- 財務状況					
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須	316,888,000,000円(2021年3月期)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択	36,396,000,000円(2021年3月期)
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須	21,152,000,000円(2021年3月期)
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択	62.6%(2021年3月期)
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択	
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/8)

認定番号: 0231-2003, サービス名称: CELF, 事業者名称: SCSK株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
15	財務信頼性	上場の有無	選択	株式上場: 有 市場名: 東京証券取引所 市場第一部(証券コード: 9719)
16		財務監査・財務データの状況	選択	①会計監査人による会計監査
17		決算公告	選択	有
- 資本関係・取引関係				
18	資本関係	株主構成	選択	住友商事株式会社 50.64% 株式会社日本カストディ銀行 6.00% 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 4.09% SCSKグループ従業員持株会 2.28% SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT 1.33% (2021年3月31日時点)
19	取引関係	大口取引先	選択	
20		主要取引金融機関	選択	
21		所属団体	選択	
- コンプライアンス				
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	選択	
23		専担の部署・会議体	選択	コンプライアンス委員会
24	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	必須○	・情報セキュリティ基本方針 ・情報セキュリティ管理規程 ・準則 情報セキュリティガイドライン ・商取引規程 ・個人情報保護方針 ・個人情報保護規程 ・個人情報保護細則 ・特定個人情報の取扱いに関する細則
				有
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	選択	
26		ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	必須	無し
				無し
- サービス基本特性				
27		サービス名称	必須	CELF
28		サービス開始時期	必須	2016/7/19
				有: RPAエンジンをオプションとして提供開始(2018/4/23) Excelからアプリを自動作成する機能を提供開始(2020/4/13)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/8)

認定番号: 0231-2003, サービス名称: CELF, 事業者名称: SCSK株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
29	サービス内容	サービスの基本タイプ	必須	アプリケーションサービス
30		サービスの内容・範囲	必須	<p>「CELF」はデータベースと連携したWebアプリをユーザ自身で「作成」し、企業内に「公開」することで、複数ユーザで共有して「利用」することができるWebアプリ作成サービスです。</p> <p>【サービスの特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Excel感覚で画面レイアウト作成、数式の利用が可能です。 ・データはCELF上のデータベースで一元管理することで、最新データを共有できます。 ・Webアプリの動きはドラッグ&ドロップで直感的に作成できます。 ・RPAオプションを利用することで業務を自動化するロボの作成が可能となります。 <p>有:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別途、拡張オプションを導入することでサービス連携が可能 ・PCAクラウド(ピー・シー・エー株式会社) ・DataSpider(アステリア株式会社) ・ASTERIA Warp(DataSpider)
31		サービスのカスタマイズ範囲	必須	個別のカスタマイズには非対応
32	サービスの 変更・ 終了	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	必須○	<p>サービス内容の変更: 30日前</p> <p>サービスの廃止: 6カ月前</p> <p>サービス内容の変更: 製品WEBサイトに掲載</p> <p>サービスの廃止: 書面にて通知</p>
33		サービス(事業)変更・終了後の対応・代替措置	必須	<p>有:</p> <p>作成したデータをユーザーご自身にてエクスポートいただく方針となっております。</p> <p>有:</p> <p>サービス終了前に、データはCSVファイルでエクスポートして他サービスへ移行して頂くことが可能となっております。</p> <p>無し: サービス解約30日後にすべてのアプリ、データを削除します。</p>
34		サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	必須○	<p>有:</p> <p>名称: SCSK担当窓口(利用申請書内に記載)</p> <p>受付時間: 平日9:30~18:00</p> <p>※ただし、「国民の祝日に関する法律」に定める休日及び当社が定める休日を除く</p>
35	サービス料金	課金方法	必須	<p>無し</p> <p>契約ユーザ数に応じて、基本利用料金として毎月、または毎年課金させていただきます。</p> <p>RPAオプションに関しては利用端末数に応じて毎年課金させていただきます。</p>
36		料金体系	必須	<p>無し</p> <p>月額利用料金: 1,500円/1ユーザー (年間利用料金: 17,500円/1ユーザー) 最低利用ユーザー数が、10ユーザー以上となっております。</p> <p>※RPAオプション 年間利用料金: 35,000円/1端末 ※最低利用端末数が1端末以上、年額利用のみとなっております。</p> <p>月額利用: 1ヵ月、年間利用: 1年 ※RPAオプションは最低利用契約期間1年</p>
		最低利用契約期間		

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/8)

認定番号: 0231-2003, サービス名称: CELF, 事業者名称: SCSK株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
37		解約時ペナルティ	必須	無し	
38		利用者からの解約事前受付期限	必須	有: 解約の申し入れは契約期間満了の30日前まで	
39		サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	99.977%(2021/1/1~2021/12/31の実績)	
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン1 稼働率99.5%以上	
		サービス停止の事故歴		2回(2021/1/1~2021/12/31の実績) (定期外メンテナンス1回を含む)	
40		サービスパフォーマンスの管理	選択	ホスト上でのメトリクス監視および外部から指定URLへのHTTPレスポンス監視(インターバル 1分)を実施 運用担当者へのメール通知、監視ツール確認により把握	
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		ホスト上でのメトリクス監視および外部から指定URLへのHTTPレスポンス監視(インターバル 1分)を実施 運用担当者へのメール通知、管理ツール確認により把握	
41		サービスパフォーマンスの増強	選択		
42	サービス品質	認証取得・監査実施	選択	有: プライバシーマーク	
43		個人情報の取扱い	必須	プライバシーポリシーとしてWebサイトに明記しております。	
44		脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	プラットフォーム(OS、ミドルウェア)、およびアプリケーションに関する脆弱性診断を実施
			診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		年1回以上の実施。対策が必要な部分は即座に対応
45		バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	日次でバックアップを取得
			世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	7世代
46		バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	
47		受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	
48	SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	「CELFクラウドサービス契約条項」および「CELFクラウドサービス仕様書 5.Service Level Agreement (SLA)」に記載	
49	サービス利用量	利用者数	選択	契約企業数: 約570社(2022年1月時点)	
50		代理店数	選択		

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/8)

認定番号:0231-2003, サービス名称: CELF, 事業者名称:SCSK株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等					
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	主要ソフトウェアの名称	必須	CELF
			主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	「CELF」はデータベースと連携したWebアプリをユーザ自身で「作成」し、企業内に「公開」することで複数ユーザで共有して「利用」することができるソフトウェアです。
52		主要ソフトウェアの提供事業者	提供事業者の名称	必須	SCSK株式会社
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称	選択	
			標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否		
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	死活監視の対象(アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器)ごとの監視インターバル	必須○	監視対象:サーバ、ミドルウェア(アプリケーションサーバ、データベースサーバ)、プロセス、アプリケーション、ネットワーク機器 監視インターバル:1分
			障害時の利用者への通知時間		15分以内
55		障害監視(ソフトウェア、機器)	障害監視の有無	必須	有
56		時刻同期	システムの時刻同期方法	必須	NTP
57		ウイルスチェック	メール、ダウンロードファイル、サーバ上のファイルアクセスに対する対処の有無と、対処がある場合はパターンファイルの更新間隔(ベンダーリリースからの時間)	必須○	ウイルスチェック:有 パターンファイル更新間隔:日次
58		記録(ログ等)	利用者の利用状況、例外処理及びセキュリティ事象の記録(ログ等)取得の有無と、記録(ログ等)がある場合にはその保存期間	必須○	ログ取得:有 保存期間は1年
59		セキュリティパッチ管理	パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間)	必須○	サーバOSやアプリケーションのセキュリティパッチは月次の計画停止日に適用(ただし緊急性の高いものは随時適用)
- ネットワーク					
60	回線	推奨回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	インターネット回線
			ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	インターネット回線事業者・ISPの都合によりシステム利用に支障が発生した場合の責任は負わない
61		推奨帯域	推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	有: 100Mbps以上
62	推奨端末		パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	PCのみ Windows 7 SP1 (32bit, 64bit) Windows 8.1 (32bit, 64bit) Windows 10 (32bit, 64bit)
			利用するブラウザの種類	必須	本サービスではブラウザは利用せず、CELFクライアントのインストールが必要

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/8)

認定番号:0231-2003, サービス名称: CELF, 事業者名称:SCSK株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
63	セキュリティ	ファイアウォール設置等	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無	必須○ 有
64		不正侵入検知	不正バケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知の有無	必須 有
65		ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択
66		ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	必須○ 有
67		ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○ 企業ID,ユーザーID、パスワードによる認証 指定グローバルIPからのみの接続を許可する設定が可能
68		管理者認証	サーバ運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	必須○ 有
69		なりすまし対策(事業者サイド)	第三者による自社を装ったなりすましに関する対策の実施の有無と、対策がある場合は認証の方法	必須 有: SHA256アルゴリズム対応のSSL証明書による通信データの暗号化
70		その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)	選択
- ハウジング(サーバ設置場所)				
71	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須 IaaS環境としてマイクロソフト社のクラウドサービス(Azure)を使用しています。データセンター専用建物です。
72		所在地	国名、(日本の場合は地域ブロック名(例:関東、東北))	必須 IaaS環境としてマイクロソフト社のクラウドサービス(Azure)の東日本リージョン、西日本リージョンを使用しています。
73		耐震・免震構造	耐震数値	必須 IaaS環境としてマイクロソフト社のクラウドサービス(Azure)を使用しています。当項目は非公開です。 免震構造や制震構造の有無 IaaS環境としてマイクロソフト社のクラウドサービス(Azure)を使用しています。当項目は非公開です。
74	非常用電源		無停電電源装置(UPS)の有無と、UPSがある場合は電力供給時間	
75	非常用電源設備	給電ルート	別の変電所を経由した給電ルート(系統)で2ルート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPSを除く)	必須 IaaS環境としてマイクロソフト社のクラウドサービス(Azure)を使用しています。当項目は非公開です。
76		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、非常用電源がある場合は連続稼働時間の数値	必須 有:IaaS環境としてマイクロソフト社のクラウドサービス(Azure)を使用しています。緊急電源サポート(発電機など)が装備されています。連続稼働時間については非公開です。
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	自動消火設備の有無と、ある場合はガス系消火設備か否か	必須 IaaS環境としてマイクロソフト社のクラウドサービス(Azure)を使用しています。当項目は非公開です。
78		火災感知・報知システム	火災検知システムの有無	必須 有
79	避雷対策設備	直撃雷対策	直撃雷対策の有無	必須 IaaS環境としてマイクロソフト社のクラウドサービス(Azure)を使用しています。当項目は非公開です。
80		誘導雷対策	誘導雷対策の有無と、対策がある場合は最大対応電圧の数値	必須 IaaS環境としてマイクロソフト社のクラウドサービス(Azure)を使用しています。当項目は非公開です。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/8)

認定番号: 0231-2003, サービス名称: CELF, 事業者名称: SCSK株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
81	空調設備	十分な空調設備	空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	選択	IaaS環境としてマイクロソフト社のクラウドサービス(Azure)を使用しています。冷暖房、換気、空調(HVAC)システム。データセンター内の空間温度、空間の与圧、外部の空気の取り入れを管理および監視されています。
82	セキュリティ	入退館管理等	入退室記録の有無と、入退室記録がある場合はその保存期間	必須	有: IaaS環境としてマイクロソフト社のクラウドサービス(Azure)を使用しています。保存期間については非公開です。
			監視カメラの有無と、カメラがある場合は監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間		有: IaaS環境としてマイクロソフト社のクラウドサービス(Azure)を使用しています。稼働時間、映像の保存期間、改ざん防止機能の有無については非公開です。
			個人認証システムの有無		有: IaaS環境としてマイクロソフト社のクラウドサービス(Azure)を使用しています。
83	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	IaaS環境としてマイクロソフト社のクラウドサービス(Azure)を使用しています。当項目は非公開です。	
		保管管理手順書の有無		IaaS環境としてマイクロソフト社のクラウドサービス(Azure)を使用しています。当項目は非公開です。	
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択		
- サービスサポート					
85	連絡先	申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○	電子メール: celf_support@scsk.jp	
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		代理店連絡先: 有 名称・所在地・連絡先は製品Webサイトに掲載 (https://www.celf.biz/partner-search/)	
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	平日9:30~18:00 ※ただし、「国民の祝日に関する法律」に定める休日及び当社が定める休日を除く	
		メンテナンス実施時間		計画サービス停止日時: 毎月の第2金曜日 21:00~翌3:00	
87	サービス窓口(苦情受付)	サポート対応	サービスサポートの稼働率の実績値(単位: %)	選択	
			放棄率の実績値(単位: %)		
			応答時間遵守率の実績値(単位: %)		
			基準時間完了率の実績値(単位: %)		
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	当社が提供するヘルプデスクサービス、または本製品(派生物を含む)に関するパッチ、アップデート版、アップグレード版の提供、ライセンス・キーの変更版の提供	
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電子メール	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (8/8)

認定番号:0231-2003, サービス名称: CELF, 事業者名称:SCSK株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
89	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み	必須	サーバの冗長化及びロードバランサーによる負荷分散
90		事故発生時の責任と補償範囲	必須	有
91	サービス通知・報告	利用者への告知時期 (1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)	必須○	2週間前に告知
		メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知 告知方法		製品Webサイト及びメールにて告知
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有
92	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無	必須○	有
93	定期報告	利用者への定期報告の有無 (アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	無し

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。